

## 学校見学ガイド

学校説明会の日程は、右記の通りです。  
ご参観いただける学校行事もございますので、  
ぜひ見学にお越しください。

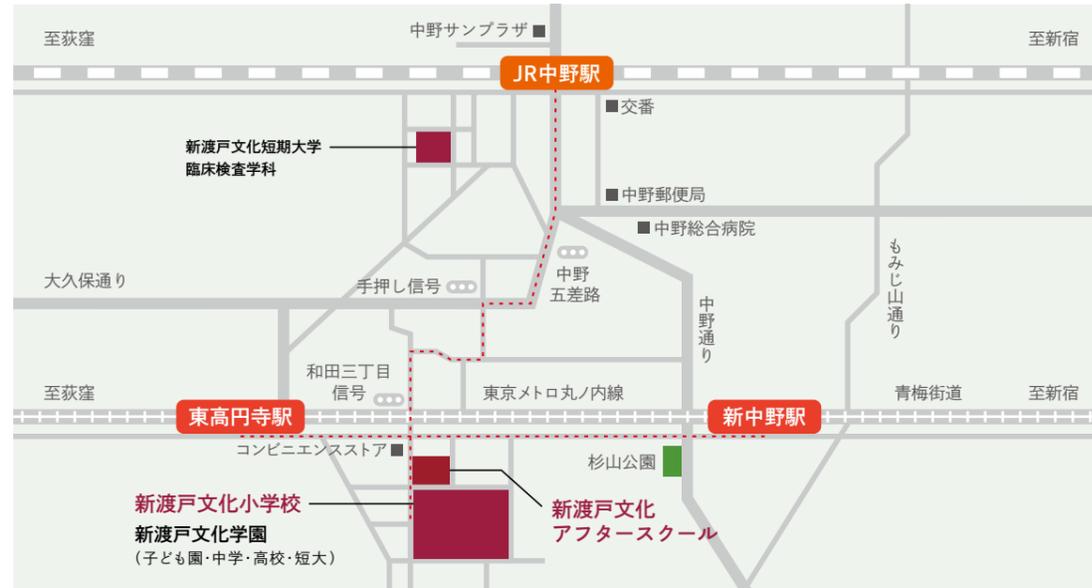
- 学校説明会は予約制になります。ご希望の方は、  
ホームページよりお申し込みください。
- この他にも見学できる学校行事がございます。  
詳細はホームページでご確認ください。

### 学校説明会 (全て2023年)

第1回	2/11 (土)	10:00~11:00	オンライン開催
第2回	5/11 (木)	9:30~11:00	公開授業
第3回	5/19 (金)	19:00~20:00	オンライン開催
第4回	6/10 (土)	9:30~11:00	学校案内
第5回	7/5 (水)	15:30~17:00	アフタースクール公開
第6回	7/14 (金)	19:00~20:00	オンライン開催
第7回	9/16 (土)	9:30~11:30	プログラム体験
第8回	11/25 (土)	10:00~11:30	校内開催

## アクセス

東京メトロ丸ノ内線「東高円寺駅」から徒歩5分、「新中野駅」から徒歩7分  
JR中央線・東京メトロ東西線「中野駅」から徒歩15分



### 主な駅からの所要時間

〈JR線ご利用の場合〉

新宿駅 ▶ 中野駅 約4分

〈東京メトロ丸ノ内線ご利用の場合〉

新宿駅 ▶ 東高円寺駅 約8分

荻窪駅 ▶ 東高円寺駅 約6分

〈その他〉

練馬駅 ▶ 東高円寺駅 約23分

バスなどを利用することも可能です。



## 新渡戸文化小学校

### 新渡戸文化アフタースクール

〒164-8638 東京都中野区本町6-38-1  
TEL:03-3381-0124 FAX:03-3381-0125  
www.el.nitobebunka.ac.jp



noteもご覧ください

新渡戸文化小学校  
公式note



併設校：新渡戸文化子ども園／新渡戸文化中学校／新渡戸文化高等学校／新渡戸文化短期大学

# 入学案内 2024 新渡戸文化小学校





# 「しあわせ」を つくる人になろう。

自律した学びで、  
自分とまわりの“Happiness”を創り出す

新渡戸文化学園では、初代校長・新渡戸稲造の

“世に生まれ出でたる大きな目的は、人のために尽くすことにある。

自分が生まれた時より死に至るまで、周囲の人が少しでもよくなれば

それで生まれた甲斐ありというもの”という言葉から

「Happiness Creatorの育成」を教育目標にしました。







カリキュラム

自ら問いを立てる、  
考えぬく



“Happiness Creator”に  
つながる「12の学習者像」

小学生にもイメージが伝わるように、ひとつひとつの言葉を厳選して紡ぎ出しました。学年・クラスの目標や、通知表の生活評価の指針にしたり、日頃の教育活動に生かしたりしています。



“好きを大事にする人”  
ってどんな人？

自分が夢中になれることや  
心地よく思えることを知り  
それを愛せる人


クロスカリキュラム  
教科を超えた学び

Challenge Based Learning

新渡戸文化学園  
3C  
カリキュラム

チャレンジ・ベースド・ラーニング  
社会とつながる  
プロジェクト型学習

Core Learning

コア・ラーニング  
確かな基礎学力

新渡戸文化学園では、“Happiness Creator”を育てるための教育コンセプトとして、「3Cカリキュラム」を推進します。

Core Learning

夢を実現するための  
確かな基礎学力

自分のしたいこと・叶えたいことを実現するための学力を身につけるために、基礎学力の習得は丹念におこないます。従来の学習様式に加え、ICTを活用することで、確かな学力を培っています。

iPad・ICTを活用した学び

1人1台iPadのインフラを生かし、多様な学習アプリを活用しています。回答や意見を先生や友達と共有する「ロイノート・スクール」などで、ICTならではの学びを実現。また、“Learn By Creation (創造して学ぶ)”のコンセプトを力強く支えているのもデジタル・デバイスです。動画やイラスト作成などを通して学びをアウトプットし、深い定着につなげています。

英語学習

1年生から毎週、ネイティブスピーカーと日本人教師のチームティーチング体制で丁寧に指導しています。外国の歌や絵本を導入したり他教科の内容を扱ったりして、子どもたちの気持ちを大切にしています。文化や言葉に触れる機会を通して、外国に対する興味・関心を育み、多文化共生力を養います。





プロジェクト型学習

## 興味を持ち、 アクションを起こす



### チームで問いを探究する。 新渡戸文化のプロジェクト科

「授業とは先生の話聞くもの」。その当たり前を崩していくきっかけとなるのがプロジェクト科です。この当校独自の教科では、学年ごとに正解のない「問い」を設定し、チームで探究していきます。プロジェクトの舵取りをしていくのは、子どもたち自身。対話しながら「あれを調べたい」「こんなものを作ってみよう」と計画をたてます。教師はあくまでサポート役で、さまざまな教科の学びと結びつけていきます。新渡戸文化では年間いくつものプロジェクトが展開され、その全てが子どもたちにとって「忘れられない学び」となっています。



新渡戸祭でのプロジェクト科の様子をYouTubeで公開中!  
<https://youtu.be/SeZyOUIx4W0>



### Focus 01 6年生・「生きた本」に学ぶ多様性—Human Library—

#### 多様な人々を「本」に見立てて、 「普通って何？」を考える

小学生が普通に生活をしているだけではあまり交わることのない特徴を持った人々。その特徴とは、LGBTQであったり、心身の障害であったり、外国にルーツがあることだったり。そのような人々が「本」となって、6年生3~4人のグループに自身の半生について語ることを皮切りに、お互いを「バディ」と呼びあい、3カ月間交流しました。一緒に公園で遊び、経験してきたことを語り合った中で相互理解を深め、最後は子どもたちがバディの人生についての「本」を書いて、新渡戸

祭でお客様に読み聞かせを行いました。重度障害の方がバディだった子は、「はじめは大変そうだなと思ったけれども、話をしていたら自分と同じところもたくさんあって、普通って何だろうと思った」という感想を話してくれました。みんながうけれど、みんなおなじ—そんな、人間社会の真理について、理解を深めるきっかけになるプロジェクトになりました。



プロジェクトが終了してからも日常的に、「あ、バディも同じこと言っていた。」などと、話を結びつけて考える子どもたちの様子があります。早い年齢からダイバーシティを認識することで、これからの人生での体験も違った見方で感じられるのではないのでしょうか。



分かり合おうとするほどに、分かり合うことの難しさに直面しました



新渡戸祭での発表の様子

### Focus 02 5年生・100年後の未来をSOZOしようプロジェクト

#### 高校生との対話を通して、 新たな創造性を生み出そう！

オンライン高校「N/S高」や、創造性を研究・実験する専門機関「UNIVERSITY of CREATIVITY (UoC)」とコラボし、さまざまな世代・業種が越境することでお互いのSOZO力（創造力）向上を目的としているプロジェクトです。

はじめに、子どもたちが3Dアプリ「Tinkercad」を用いて、未来にあったらいいものについて、高校生にアドバイスをもらいながら3Dモデルを作成しました。交流していく中で、高校生が「未来

へのアイデアが偶発的に生まれたら面白そう」と考え出したのが、「みらいろカードゲーム」。新渡戸祭に来場のお客様にも、子どもたちが紹介して遊んでいただきました。

プロジェクトの最後には、小学生一人ひとりが未来のストーリーを考え、UoCのオフィスでプレゼン発表。自分のアイデアを形にし、繰り返し対話することで自己肯定感が高まり、未来にワクワクする気持ちが膨らんでいきました。



高校生との対話を通してお互い刺激を受け合い、創造力が高まりました



3Dモデルやカードゲームを作成



高校生が伝えてくれた「未来は他人事じゃない！」というメッセージがとても心に残ったし、毎回温かいコメントやフィードバックをくれるので、人に発表したり対話したりすることが楽しいと思えるようになりました。私たちがSOZOしたことが本当に実現する未来にしたいです！



プレゼン発表はUoCのオフィスで。自信を持って話せました！





思いを込めて真剣に作品を制作

### Focus 03 3年生・ハッピープロジェクト ～ウクライナ編～

## 思いさえあれば、 誰でもしあわせはつくれる

ウクライナの人たちが困っている事をニュースで知り、動き出した子どもたち。「争いを解決するのは何か」をテーマに、「争い」とは？「平和」とは？と自分を見つめレゴブロックで表現したり、友達の言葉や歌詞から平和を見つけたりしていききました。

そして、「私たちの声と手は、平和と笑顔を作ることができるのか？」を問いに掲げた『KOETE (声&手、超えて、越えて) プロジェクト』が始動。寄付金を得る

ために、キーホルダーや本などの12種類の作品を生み出しました。

作品は新渡戸祭で販売し、たくさんの共感を集めました。5万円を超える寄付金(売上)を得て、子どもたち一人ひとりが自分の価値観で寄付先を決めました。

子どもたちは、プロジェクトを通して自分達の行動が平和と笑顔につながっていくことを体験し、手作りの作品と本物のお金をやりとりしたことで、実感のある深い学びができました。



新渡戸祭での販売・ボランティア体験の様子



「僕たちは新渡戸祭に向けて、友達と協力しながらオリジナル本を作りました。実際にお客さんがたくさん来てくれていろんな商品を手にとってくれました。売れたこともうれしかったけれど、「これで誰かを助けられるんだ!」と思ってワクワクしました。」

### Focus 04 1年生・おいしいってなんだろうプロジェクト

## 身近な「食べもの」をテーマに、 初めてのプロジェクトに挑戦!

1年生が初めて取り組むプロジェクトは、子どもたちが考え続けることができるよう、身近な「食べもの」をテーマに選びました。

名付けて「おいしいってなんだろうプロジェクト」。にとべごはん(給食)からも学びがあるように授業設計を工夫。授業のひとつを栄養士と連携し、「献立は何を考えて作られているんだろう?」「バランスのよい食事ってなんだろう?」を考え、三大栄養素の学びにつなぎました。

新渡戸祭では、三大栄養素について学んだことをクイズ形式にして、お客さんにも「おいしい」について知ってもらうことができました。

「前より、ごはんを全部食べられる日が増えた!」「きのこが嫌いだったけれど、がんばって食べてみる!」と、本当の「おいしい」を考えながら、知識だけでなく「食べること」に対して前向きになった子どもが増えたことこそ、プロジェクト型の学びの効果であるといえます。



自分と家族の好きな食べものと理由を調査



三大栄養素について学び、クイズ形式にして新渡戸祭で発表。盛況でした!

教科横断型の学びができるのが、プロジェクトのいいところ。一見プロジェクトとは関係のない教科も、発表の仕方や考え方で、他の教科とつながっています。プロジェクトで学んだことを国語の授業で生かす姿が見られ、子どもたちの学びの深め方に驚きました!



## 私たちが、しあわせな学校をつくらう / 全校ミーティング

ひとつのテーマについて、学校全体で考えていく時間が「全校ミーティング」。まずはひとりで考え、クラスのみならず意見を交わし、学級・学校全体へプレゼンする。その流れの中で、相手の意見や気持ちをくみ取りながら合意形成していく文化をつくり、未来は自分たちでつくることのできるという気持ちを育てます。

### ① テーマを決める

1年生から6年生までが自分ごととして考えることができるものや、日頃疑問に思っていることを募集して、代表委員がテーマを決めます。

- 「学校にあつたらみんなが楽しめるもの」とは?  
→リラックススペースやソファを設置した
- 「毎朝必ず制服から体操服に着替えること」について考えよう  
→時間割に合わせて自分で考えることに決定した
- 「学びにあつた筆記用具」について考えよう  
→以前より自由度が高まった  
(目的の学びに合っているのかは、今後も見直しを続けていく予定)



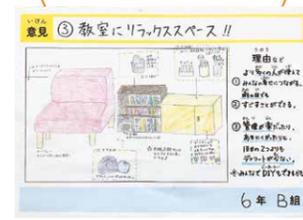
### ② 話し合い

学級での話し合いは多数決に頼らず、全員で新しいアイデアを作り出したり、新しい価値に気付く場として設定しています。その際、ハビネスクリエーターとして「自分もみんなも幸せになるには?」という視点を大切にしています。話し合ったことはポスターと動画にして発信します。



全校に発表を配信!

### 各クラスの意見を まとめて掲示



### ③ どうするかを決める

子どもたちや保護者の方がよく通る場所に、「全校ミーティングボード」が設置されています。今日の段階なのか、どんな意見が挙がっているのかが、ひと目で分かるようになっており、各クラスのプレゼン動画を見ながら最終的に自分の意見を決めて意思表示をします。

### 決めたことが 形に…!

ソファ設置のように話し合いの結果がすぐ形になることもあります。しかし、ルールは常にアップデートし続けるもの。着替えは試行期間を設けて、筆記用具は使いながら見直し続けていきます。



リラックススペースでつるぐ子どもたち



みんなでものごとを決める、意思決定のプロセスを学びます

なぜ?をみんなと話し合っ解決するのが楽しい!

次は学校でのお祭りや遠足を企画してみたいな!



# もっと知りたい もっとやってみたい もっとつくりたい

教室、教科、学年。

これまでの学校の仕組みを越え、児童も先生も、ともにつくり、ともに学ぶ。

日常で生まれる「問い」や「興味」を、さらに深める。

アート、サイエンス、テクノロジーを駆使し、多様な価値観を持つ人たちと共創しながら、  
自分の想いをかたちにしよう。



## VIVISTOP NITOB E

## 子どもたちが創ってみたいモノ・挑戦してみたいコトを 大人たちがサポート

「あそびと学びのクリエイティブ・フィールド」、VIVISTOP。学校の中には世界で初めて、2021年4月に新渡戸文化小学校内にフルオープンしました。

のこぎりで木片を加工したり、自分で設計した部品をレーザーカッターで切り出したり、最新のプログラミング・ブロックパーツを使ってロボットをつくったり。VIVISTOP NITOB Eにはさまざまな設備やしかがそろっています。授業の時間は、みんなで社会とつながるクリエイティブなミッションの達成を目指す。放課後の時間は、自分が望んだものを、大人とも協働しながら、自分のペースで生み出していく。時間、教科、学年を越えて、子どもたちの想いがかたちになります。



 <https://www.nitobebunka.ac.jp/vivistop/>



 [https://www.instagram.com/vivistop\\_nitobe/](https://www.instagram.com/vivistop_nitobe/)



ここでは毎日、年齢も職業も異なる色々な人が集まって、アイデアが飛び交い、さまざまなモノ・コトが生まれています！今日は何が起きるかな!?

### こんな活動がうまれています

#### FURNITURE DESIGN PROJECT



VIVISTOP NITOB Eで実際に使用する椅子を、5年生がデザイナーと一緒にアイデア発想、図面制作、模型制作、発注書づくりなどを試行錯誤しながら実施。オンラインで高知県佐川町のデザイナーや林業関係者とつなぎ、木材や林業を知る取り組みや、木の加工までを共に進めました。デジタル工作機械を活用しながら、最後は自分たちの手で椅子を完成させました。今では多くの人が座り、皆に愛されています。この取り組みは、キッズデザイン賞2021年度内閣総理大臣賞（最優秀賞）を受賞しました。



どうしたら座り心地がよくなるのか、椅子の背もたれの角度を何度も考えて作りました

#### 境界線をなくす Eliminate Boundaries



株式会社Innovation Designと株式会社モノファクトリーと一緒にモノの循環、ゴミ問題、地球について手を動かしながら学びました。“不要になったモノ”=素材（マテリアル）に触れ、対話をし、モノの背景を想像しました。それをどのように使えばいいのか、“不要になったモノ”を長生きさせるアイデアを生み出し、制作を通じて、素材（マテリアル）の価値を創出していきました。子どもたちの作品は、2021年7月～9月まで、渋谷スクランブルスクエア14階のhaishopにて展示・販売されました。



私たちの作品をお客さんに買ってもらえてすごくうれしい！長く大事にもらえるといいなあ



アフタースクール

## 本気で遊べば、「得意」に変わる



### POINT 1 働く保護者を徹底サポート



**必ず全員受け入れ**  
定員はなく全員を受け入れ。急な用事の場合もスポットで利用可能。



**安心・安全のお知らせと送り迎え**  
入退室はメールでお知らせ。17時半以降は最寄の駅・バス停まで送迎。



**台風・大雪等学校休校時でも開室**  
長期休暇時はもちろん、悪天候による臨時休校時なども朝8時から開室。



**夜7時まで開室**  
通常時は夜7時まで開室。保健室には看護師さんが夜7時まで常駐。



**毎日のおやつと便利な昼食**  
毎日おやつを提供。また、長期休暇時も、通常通り手づくりの給食を提供。

### POINT 2 放課後の過ごし方は自分で決める



アフタースクールは自由な時間。友だちと遊ぶ、学習に取り組む、おやつを食べる、好きなプログラムに参加する、ものづくりに挑戦する、何もしないでボーっとする。多様な選択肢の中から放課後の時間の過ごし方は自分で決めます。

### POINT 3 子どもたちの「自律」を目指す



自律の第一歩、「時間管理」は将来必ず必要な力です。帰宅時間に間に合うように支度する、プログラム開始に間に合うよう場所を移動するなど、大人に依存せず自分で行動します。

### POINT 4 放課後は学校全体が遊びの場



他学年の友だちと自由に過ごせる2つの広いメインルームの他、体育館、グラウンド、ガーデン、音楽室、教室などさまざまな場所で思い思いの過ごし方ができます。

### POINT 5 子どもを「主語」に考えるスタッフ



スタッフは学生から主婦の方まで多様です。閉室後のミーティングや定期的な研修で真剣に子どもを「主語」に、子どもたちの「やりたい!」を実現するため語りあっています。

### POINT 6 長期休みも本気で遊ぶ



夏休み等長期休み中は毎日イベントを実施。演劇鑑賞や美術館訪問など外出も。自らキャンプやカフェなどさまざまなプロジェクトに取り組み、貴重な体験が得られる機会です。

POINT 7 多彩なプログラム

# プロから教わり、「本物」に出会う

20種類以上のプログラムから自由に選べ、自分の「好き」や「得意」を見つけ、とことん探求できる。そんな環境がアフタースクールには揃っています。

剣道 週4



講師/目黒雅也  
剣道六段

剣道の基礎、武道ならではの礼儀作法を身につけます。中高生と一緒に練習します。

サッカー 週5



講師/森山大可  
NPO法人Sports Unity

毎月一つ課題を設定して技術の向上を図ります。週末は新渡戸SCの活動もあります。

バスケットボール 週2



講師/青野和人  
Bリーグ 越谷アルファーズ GM

チームプレーを大切に、低学年はボールに慣れること、高学年は実践的な練習を行います。

チアリーディング 週3



講師/折原裕子  
恵泉女学園高校 チアリーディング部 BLAZERS 出身

仲間と協力し合い助け合う団体スポーツです。2年生以上は大会に出場します。

卓球



講師/国広哲弥  
全日本マスターズ30代第3位、日本卓球協会公認卓球五段

最近、人気急上昇中の卓球。マシンも導入し、基本からしっかり練習します。

体操



講師/コスモスポーツクラブ

マット運動、鉄棒、縄跳び、跳び箱など、さまざまなことへ挑戦。基礎体力と物事を諦めず最後まで挑戦する姿勢を育てます。

ダンス 週2



講師/RINA  
プロダンサー、パーソナルトレーナー

低学年は音楽に合わせる楽しさを学び、高学年はチームとして難しい振り付けに挑戦します。各種発表会にも出場します。

バレエ



講師/齋藤夢佳  
SHOW BALLET JAPAN

コンセプトは「毎日が発表会！」。バレエの基礎や品格を身に付けながらバレエの代表的な音楽に合わせて踊る時間も取ります。

マンガ



講師/風屋ロツサリ  
漫画家「もち」アシスタント

マンガに必要なストーリーやキャラクター作り、またつけペンを使用した作画技術習得などに挑戦します。

アート



講師/小林真衣子 もみじやま絵画教室主宰、椽本蓉子 陶芸家、桜岡みゆき 画家 ほか

1年生は絵画・造形、2年生以上は陶芸・絵画・刺繍などさまざまな分野に挑戦します。

ピアノ・フルート・ヴァイオリン



講師/鈴木久仁子、田中秀子、大橋英莉

個々の進度に合わせたレッスンで、初心者でも気軽に始められます。発表会も予定しています。

プログラミング 週2



講師/STEMON ほか

低・中学年はSTEAM教育をメインとしたものづくりでプログラミングの基礎を、高学年になるとレゴを使った課題解決型ロボットに取り組みます。

英語 週2



講師/Lepton

自立型英語教室。聞く・話す・読む・書くの英語4技能を学び「使える英語力」を習得。TOEIC® TestにつながるJETテストも行います。

そろばん 週4



講師/菅野明成  
珠算五段、暗算六段

そろばんを通じて、一度身につけると一生使える計算の基礎・数値感覚を養成します。

書道



講師/田中葉奈  
毛筆書写技能検定最高位一級

「字に上手い下手はない」「書道は自己表現の一つ」という考え方でポイントを押さえて教えます。作品展へも出展します。

大会

- ・チアリーディング  
USA Regionals 2023 東京大会
- ・プログラミング  
ファーストレゴリーグ (FLL)  
2019 東日本大会出場、  
マイクラカップ2022出場



- ・サッカー (新渡戸SC)  
中野区少年サッカー連盟  
2022年度会長杯

作品展

- ・書道  
全国書道コンクール  
金賞、銀賞
- ・アート  
第19回ブリヂストン  
こどもエコ絵画コンクール

発表会

- ・新渡戸祭
- ・アフタースクール発表会  
アートスタディ day、  
スポーツ day

## プロジェクト

子どもたちの「やりたい！」から生まれたプロジェクト。すべて本気の取り組みです。



### おやつプロジェクト

おやつをもっと楽しく食べたい！と考えたメンバーによる、星形機の制作。プロのデザイナーからも助言をいただきました。



### マイクラカップ

マイクラフトを使い、SDGsのテーマに沿ったフィールドをみんなで協力して制作。本気で大会出場を目指します。



### キャンププロジェクト

すべて子どもたちが1から企画したみんなで楽しめる夏のイベント。当日の司会も子どもたちで行いました。

# 彩りのある学校生活や行事

日常の学習の時間以外にも、給食・クラブ・学校行事を大切に、子どもたちがさらに成長できる機会にしています。「自主性」をキーワードに、子どもたちが選択・決定することを心がけています。



## にとべごはん

日本初の農学博士でもあった新渡戸稲造の理念に基づき「食」にはこだわりをもって、私たちは給食を「にとべごはん」と呼んでいます。私立校の中でも数少ない手作り自校給食で、子どもたちの健やかな身体と豊かな心を育てています。



## にとべごはんのポイントは 3 つ

### Point 1 手作りのだし

添加物・化学調味料は一切使用せず、手作りのだしを使用します。和食のメニューでは、かつお節や煮干し、だし昆布でだしをとり、洋食・中華料理献立では、鶏ガラや豚骨を香味野菜とじっくり煮込んでスープをとります。



### Point 2 こだわりの素材

春は筍、夏は色とりどりの夏野菜、秋はきのこ、冬は白菜やほうれん草など野菜以外にも旬の食材を多く取り入れ、食事から季節を感じることができるよう献立を毎日考えています。

### Point 3 和食の献立

日本の食文化を守っていききたいという思いから、月の7割を和食、月の3分の1は魚を主菜とした献立にしています。



## 子どもたちも大好きな美味しさ

好き嫌いをなく食べるのを楽しめることは人生の宝物。子どもたちから好評なレシピが保護者の間で話題となり、本校の給食レシピ本が発売されています。

監修：学校法人 新渡戸文化学園 著：鮑子奈緒美 新潮社刊



## 新渡戸クラブ

### アフタースクールと連携して学べる

4年生から教科の1つとして始まる、各分野の一流の講師に学べるクラブ活動。子どもたちは好きなクラブを選んで参加できます。さらに学びを深めたい場合はアフタースクールで同じ講師に学べます。

毎週木曜日 14:15～15:45 実施回数：年間33回

クラブ例：サッカー、剣道、チアリーディング、ダンス、バスケットボール、卓球、アート、クッキング、サイエンス、音楽、将棋、プログラミング、デジタルクリエーション

## 年間行事

自分たちで考えたイベントがたくさん!



入学式 最上級生が1年生一人ひとりを名前付きプラカードでお出迎え。



遠足 たてわりグループでクイズラリーやオリエンテーションを楽しみます。



### スポーツデー

高学年が競技種目を考え、準備や進行を自分たちで行います。



### 丸沼キャンプ

2・3年生が協力しながら行う2泊3日の宿泊行事です。

### 新渡戸祭

自分たちの学びを他学年や大人の方々にアウトプットします。



## 旅して育つ スタディツアー

「観光地をみんなで巡る修学旅行は、もうやめよう」。新渡戸文化学園では小中高を通して「旅は絶好の成長機会」と捉え、従来型の修学旅行を見直し新たな取り組みをしています。2022年、6年生は初めてプロジェクト型スタディツアーを行いました。「あなたにとっての幸せとは?」をテーマに、東日本大震災で被災した岩手県大槌町を訪問。悲惨な経験を経てもなお、新たなしあわせをつくり上げようと活躍している大人たちに出会いました。子どもたちが学んだことは、彼らが大人になった時、生き方のロールモデルとして支えてくれるでしょう。



自分にとっての幸せとは何かを考え、レゴで表現

震災遺構を訪れ、自然の猛威を肌で感じている



震災復興で実際に地元の方々が直面したテーマを扱う「決断のワークショップ」で、「みんなのしあわせ」について考える



3つのコースにわかれ、しあわせをつくり出す大人たちと交流(ジビエ・森林保全・お寺での瞑想)



noteでもっと詳しく! / 東北・岩手県大槌町のレポート



前編



後編

# 施設

コンセプトは「温かくてシンプル」な教室。床やドアなどは木目を生かしたナチュラルな雰囲気で、教室の背面は淡いブルーやグリーンで彩られています。子どもたちにとって、自然とリラックスして笑顔になるような空間になっています。この教室のリフォームには、6年生のアイデアが取り入れられています。木目調の床やロッカーも、色が与える心理的効果について子どもたちが調査した成果が採用されています。



**Nitobe theater** 学校の中にある「映画館」。大スクリーンに資料を映してプレゼンもします。



**多目的ルーム** 学年集会やスクリーンを活用した授業、グループワークやレクリエーションなど多様な使い方ができます。



**新渡戸キッチン** 食育で高評価をいただく本校の自慢のキッチン。つくる、食べる、つながる笑顔があふれます。



**ガーデン** 中央のクスの木に見守られ、芝生の上を駆けまわったり、寝転がったり。大人気のスポット。



**グラウンド** 全面天然芝で、思いきり走り回れます。(学園全体で共有)



**ボルダリングスタジオ** 2021年新設。難易度がさまざままで、挑戦しがいがあります。

最新のIT技術と常駐警備員による、  
強固なセキュリティ



登下校メール



小児科オンライン



メール連絡網システム「マチコミ」



## 制服

自分でコーディネートが  
工夫できる人気の制服

2017年にフルモデルチェンジ。品位と風格を漂わせるグレーの生地を用いて、都会的なセンスを感じさせるデザインに仕上げました。赤やグレーのセーターなどコーディネートを自分で選べる工夫が好評です。ご家庭で洗濯できる素材ですので、子どもたちは何事にもアクティブに取り組みます。

新渡戸文化小学校の先生は、多様性の宝庫。そんな先生たちは、どのような想いで子どもたちに向き合っているのでしょうか？

先生たちの想いを深掘り

# Teacher's Talk

ハビネスクリエイターが育つ学校で  
子どもたちと向き合い  
感じていること



「誰でも誰かを幸せにできる」という思いを持ってほしい

ここにいない誰かを想像して大切にする人になってほしいですね

自分のいいところをすらすらと5個ぐらい答えられる人になってくれたら素敵!

### 木下サリ先生

当校勤務10年以上のベテラン。国語科を専門とし、変わらない学校生活の基礎基本を伝えます。前職も私立校の上に自身も私立校出身と、私学ならではの品格を体現する先生。

### 沼尻 淳先生

公立小学校に長年勤務の後、当学園の理念に共感し2020年に参画。独自の教育理論で子どもたちを新しい世界へ導く。ソニー子ども科学教育プログラム 2021年度入賞。

### 加藤千尋先生

教員養成大学を卒業するも、新卒から「花まる学習会」で講師として活躍してきた異色の経歴の持ち主。1年生担任の傍ら、現在も週に1日花まる講師を勤める「二刀流先生」。

先生にとっての新渡戸文化のいいところって、どんなところですかね？



新渡戸文化には、先生たちにもチャレンジする環境があります。

子ども一人ひとりと向き合うために、いつもどんなことを心がけていますか？



私、演劇を観にいったら1番後ろにいる役者さんとかに目が行っちゃうんですね。それと同じで...



失敗をしても、先生同士責め合うのではなくてお互いで笑っちゃうみたいだね



子どもの「やりたい！」に、「じゃあやってみようか」となりやすいですね。



続きはnoteでお読みください

新渡戸文化小学校  
公式note



# 新渡戸文化学園は、 新たな次の100年に向けて 挑戦を始めています

1927年に創立された新渡戸文化学園は、2027年に創立100周年を迎えます。

国際社会で活躍された新渡戸稲造先生と森本厚吉先生の  
建学の精神を受け継ぎ、人格教育に力点をおく、あたたかな学園運営をしてまいりました。

国際性や多様性、持続可能な開発目標（SDGs）など、  
変化の速い時代に合わせて、さらに変革を続けてまいります。

次の100年に向けて、日本中の学校が目標にする教育機関に進化することを目指します。



NITOBE BUNKA GAKUEN



初代校長  
新渡戸稲造 博士  
(1862~1933)

旧五千円札の肖像として、また、日本の精神文化を流暢な英語で紹介した「武士道」の著者としても知られている新渡戸稲造博士。女子経済専門学校（現：新渡戸文化学園）の初代校長に就任した際に語った、「親心をもって教える教師による愛の学校でなければならぬ。」という言葉を受け継ぎ、生徒一人ひとりの人格を尊重した教育を実践しています。



創業者  
森本厚吉 博士  
(1877~1950)

優れた学者として政府の要職を歴任し国際的にも著名であった新渡戸稲造博士を校長に招いたのが、札幌農学校時代の教え子である森本厚吉博士でした。森本博士は「男女が同じように働かねばならない」という信念のもと、「実際に役立つ教育」という教育目的を掲げました。新渡戸博士の「人格教育」と森本博士の「実践教育」が融合してできたのが本学園です。



新渡戸文化中学校

学園が最上位目標として掲げる「Happiness Creator」を目指して、自分と世界のしあわせをつくり出すための学び。それを実現するために、新渡戸文化中学校では「思考を支える豊かな学力」「自ら問いをたてて考え抜く課題解決力」そして「リアルな社会とつながる行動力」を育成するカリキュラムを展開しています。

少人数ならではの強み、そして充実した施設と魅力的な教師陣は生徒たちの学びに対するモチベーションを一層高めています。



新渡戸文化高等学校

中学校同様、小学校と同じキャンパス内にあり、3つのコースを備えた普通科課程の学校です。それまで培ってきた自律型学習者のマインドは主体的に考え行動し、責任をもって社会変革を実現していく力“学びの羅針盤”へと成長します。それぞれが幸せにしたい世界に向かって知性を磨き、スキルを身に付けます。

専任教諭に加え、コースに合わせた併設短大教授やプロフェッショナル講師陣による授業が生徒一人ひとりの進路を豊かにひらきます。

自分のやりたいことを  
極める3つのコース

探究進学コース  
(医療系・理系・文系)

美術コース  
フードデザインコース

## 未来を共に創るパートナー NITOBE FUTURE ADVISER

新渡戸文化学園の理念に共感し、教育活動へのアドバイスや社会にその取り組みを発信してくれる心強い応援団です。

アドバイザーの方々からは生徒や保護者に向けた特別授業や講演も予定しています。ご期待ください！



大空小学校  
初代校長  
木村泰子さん



花まる学習会代表  
NPO法人子育て応援隊  
むぎぐみ理事長  
高濱正伸さん



慶應義塾大学大学院  
システムデザイン・  
マネジメント研究科 教授  
前野隆司さん



エシカル協会 代表理事、  
ユネスコ 広報大使  
末吉里花さん

コモンズ投信株式会社  
取締役会長 兼 ESG最高責任者  
渋谷 健さん  
明蓬館高等学校 学校長・理事長  
日野公三さん  
FutureEdu 代表理事  
竹村詠美さん  
株式会社 morich 代表取締役  
森本千賀子さん  
ラーネット・グローバルスクール 代表  
炭谷俊樹さん  
Think the Earth 理事、  
多摩美術大学 客員教授  
上田壮一さん  
日本パラリンピアンズ協会 会長  
大日方邦子さん

ほか、多数！



新渡戸文化小学校 校長  
杉本竜之

## 「自律型学習者」の育成を 自ら学びに向かう力を持った

自分なりの考えを持ちつつ、多様な他者と共存・協調し、問題や課題を発見、解決し、主体的に行動できる。

これはさまざまな文化や価値観が混在する社会を生き抜くために必要な力です。このような力は、基礎基本の学習内容を確実に習得し「自律型学習者」として学び続けることによって身につけることができます。

そのために私たちは、本校の伝統である「どの子も我が子」の精神で一人ひとりの子どもたちを丁寧に支援してまいります。